

戦 評

大会名 第7回東北高等学校新人バレーボール選手権大会

男子 ・ 女子 ・ 準決勝 ・ 決勝 会場名：一関市総合体育館

主 審：新沼 美穂 副 審：鈴木 裕之

試合結果

古川学園 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25-15 \\ 25-16 \end{array} \right\}$ 0 利 府

戦 評 試合時間 時間40分

女子決勝は昨年度と同じカードとなった。

第1セット、古川学園は多彩な攻撃を繰り広げ、序盤からペースを握り先取した。

第2セット、古川学園は2番・菊野のブロード攻撃、1番・鳴原、4番・吉田のスパイク、5番・上沢のブロックで主導権を握り、ゲームを進めていった。

中盤に利府は、1番・二瓶のスパイクや3番・鈴木のサービスエースで粘りを見せたが、最後は古川学園9番・王らの活躍で古川学園がセットを連取し、2年ぶり5回目の優勝を果たした。

※7～10行にまとめること。

戦評者：高橋 暢広